

洋上風力発電に係る自然環境調査などについて

1 全体概要

平成25年度、26年度と環境省「風力発電等環境アセスメント基礎情報整備モデル事業」に採択され、アセスメント実施の際に必要な基本的な自然環境調査を実施しました。

平成27年度は、環境省委託「風力発電等に係る地域主導型の戦略的適地抽出手法の構築モデル事業」により、野鳥や景観、低周波音等の調査を実施しました。

さらに、平成27年度補正予算を活用して、野鳥や海棲生物等との自然共生策の検討を行いました。

平成28年度は、環境省委託事業により、27年度から継続した野鳥調査を行うとともに、新規に海棲生物の生息状況を調査します（平成28年度夏・秋・冬）。

また、バードストライク回避策について、響灘地域での効果を検証するため、モデル事業を実施する予定です（平成28年度後半）。

これらのデータは、今後実施される港湾区域での洋上風力発電事業者公募に参加する企業に、環境影響評価法に基づく環境アセスメントにおける環境保全措置の検討及び環境影響評価手続きを円滑に進めるための基礎的情報として提供します。

（希少種・重要種情報を含むため、ホームページでの一般公開用には一部制限があります。）

2 調査内容

(1) 環境省「平成25－26風力発電等環境アセスメント基礎情報整備モデル事業」

ア 鳥類調査（5季：春夏秋冬＋繁殖期）

スポットセンサス（定点調査）、洋上センサス（船舶トランセクト）により、目視で個体数を調査しました。

イ 海棲哺乳類（スナメリ）調査（2季：春（繁殖期）、秋（非繁殖期））

曳航調査（音響機器を海中に入れ、船舶で引いて調査）および定点観測（1点×1か月音響機器を海中に入れて測定）を実施しました。

ウ 藻場調査（1季）

空中写真により分布を特定。さらに調査範囲内で10か所程度潜水士による目視観測をしました。また、生態系の状況を把握しました。

基盤環境として、周辺地形や性状（砂浜、岩礁など）を把握しました。

エ 主な眺望点（1季）

文献調査を元に、2か所から眺望点を撮影しました。

※調査報告書（公開版）は、環境省 <https://www2.env.go.jp/eiadb/ebidbs/Service/Main> からダウンロードできます。非公開版は、重要な動植物に関する情報（秘匿情報）が含まれるため、別途環境省への申請が必要です。

(2) 平成27-28年度環境省委託「風力発電等に係る地域主導型の戦略的適地抽出手法の構築モデル事業」

ア 鳥類調査レーダー調査（2季）

平成27年度秋季（10月）、平成28年春季（5月）、レーダーを白島、脇之浦漁港埠頭、及び藍島（平成28年春のみ）に設置し、鳥類の飛翔状況を調査しました。

イ 景観調査

陸上の主な眺望点、海上（渡船航路上）からの眺望について、風車が設置された場合の見え方を検証し、フォトモンタージュを作成しました。

ウ 低周波・騒音等調査

文献調査等を行いました。

エ 海棲哺乳類等（スナメリ、ナメクジウオ）調査

風車設置候補区域4か所で、定点観測（夏・秋・冬各1か月。音響機器を海中に入れて測定）を実施します。また、それに合わせ、海底の採泥を行いナメクジウオの生息を調査します。（平成29年3月に調査完了予定）

オ 鳥類パイロットプロジェクト

バードストライク回避策を含めた飛来防止効果の検証としてパイロット調査を実施します。（平成29年3月に調査完了予定）

<http://www.city.kitakyushu.lg.jp/files/000744481.pdf>

重要な動植物に関する情報（秘匿情報）等を含む報告書は、公募により採択された事業者に提供します。

3 参考資料

(1) 北九州市

ア 平成27年度自然共生策調査

(ア) 鳥類等との共生策調査

洋上風力では事例が少ないですが、開発事業における鳥類等への配慮や、鳥などからの被害防止のための機器設置事例が国内外に見られます。そのため、これらの事例、効果について調査すると共に、有識者へのヒアリングを行いました。

(イ) 海棲生物調査

魚類、海棲哺乳類（スナメリ）や漁業との共生・協調策について、事例調査、有識者へのヒアリングを行いました。

<http://www.city.kitakyushu.lg.jp/files/000744497.pdf>

イ 平成26年度地域貢献策調査

洋上風力発電導入により地域と事業者がメリットを共有できる地域貢献策等について検討しました。

前半 <http://www.city.kitakyushu.lg.jp/files/000744630.pdf>

後半 <http://www.city.kitakyushu.lg.jp/files/000744631.pdf>

(2) 環境省

- ・海ワシ類の風力発電施設バードストライク防止策の検討・実施手引き（平成28年6月）
<http://www.env.go.jp/press/102706.html>
- ・鳥類等に関する風力発電施設立地適正化のための手引き（平成23年1月7日）
<https://www.env.go.jp/press/press.php?serial=13331>
- ・風力発電施設から発生する騒音等への対応について中間とりまとめ（平成28年2月）
http://www.env.go.jp/air/noise/wpg/conf_method.html

(3) 国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）

- ・着床式洋上風力に関する導入ガイドブック（第一版）および環境影響評価手法の基礎資料（第一版）（平成27年9月11日）
- ・洋上観測施設公開データ（平成28年3月23日）
共に <http://www.nedo.go.jp/fuusha/index.html> から

(4) 一般社団法人 海洋産業研究会

- ・着床式および浮体式洋上ウィンドファームの漁業協調メニュー（平成27年6月）
<http://www.rioe.or.jp/2015teigen.pdf>

4 問合せ先

北九州市環境局地域エネルギー推進課 竹本・平井
TEL 093-582-2238